

自己評価報告書

平成 23 年 3 月 31 日現在

機関番号：32641

研究種目：基盤研究 (B)

研究期間：2008~2011

課題番号：20330086

研究課題名 (和文) アジアにおけるダイバーシティ・マネジメント：イスラーム、儒教、
仏教を基盤として研究課題名 (英文) Diversity Management in Asia on the basis of Islam, Confucianism,
and Buddhism.研究代表者 櫻井 秀子 (SAKURAI HIDEKO)
中央大学・総合政策学部・教授
研究者番号：60203345

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：経営学・経営学

キーワード：異文化経営、イスラーム経営、アジア経営、中国経営、儒法経営、知足経営

1. 研究計画の概要

本研究では、文化的多様性が唯我独尊的に存在するのではなく、異文化の脈絡も自らに内包するがごとく多様性を統合していくかたちのダイバーシティ・マネジメントを、あえて「関係型ダイバーシティ・マネジメント」と呼び區別し、現在、経済的隆盛を誇る、西アジアと東アジアの経営基盤を分析する。さらにそれらをつないでいく中央アジア、東南アジアについても同様に調査・研究し、アナログ的な関係型ネットワークによって組織される、一大アジア商圏の全体像を提示する。本研究はこれまで宗教、哲学、思想の分野として扱われてきたイスラームや、儒教、仏教が、経営という社会科学的な領域に大きく作用している点を実証的に示し、存在から繰り出される経営に支えられたビジネスモデルとその社会的合理性を提示する。

2. 研究の進捗状況

本研究は、異文化経営、ならびに宗教と経営という方法論において共通点を有する研究者たちとの共同研究によって組織されていることから、各専門の地域とその宗教および文化・歴史的背景を相互に理解するのに深い討議を要している。イスラーム、儒教・道教、仏教のそれぞれの経営思想、経営実践を考察し、グローバルな経営環境における位置付についても検討した。また理論的側面だけではなく、現地調査も同時並行的に行い、各自の専門分野ではない地域の調査に同行しその理解を深めている。初年度は、イラン、トルコ、2年目は中国東部沿岸部、3年目は中央アジア、中国新疆ウイグル自治区に合同調査を行い、さらに分担者が個別に、中国内陸部、タイの調査を行った。

毎年各2回開催した研究会では、イスラーム経営理論(櫻井：代表者)、儒法経営理論(高久保)、知足経営理論(木村)をそれぞれが提示し、関係性を共通項としてそれぞれの理解を深める一方、それらの経営のソーシャルビジネス的な側面を分析した(潜道)。さらに中国におけるムスリムの喜捨の実態把握の調査を中国語の資料・文献を中心に執り行っている(中屋)。

櫻井は本研究の初年度に、イスラームの経営の特性を単著として刊行したが、その後はより関係重視型経営の特性に焦点を当てた論文を発表している。現在、イスラーム経営、儒法経営、知足経営の共通点の抽出にとりかかったところであり、それぞれの社会的合理性を明らかにしつつ、アジア経営の特性としての関係型ダイバーシティ・マネジメントの合理性とその経営的・社会的意義を提示する段階にある。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

4. 今後の研究の推進方策

最終年度の来年度は、タイにおいて合同調査を行う一方、研究総括を行うために各自の論文テーマを決定し、研究成果として出版できるように準備を行う。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 13 件)

①櫻井秀子「イスラーム経営の社会的合理性について：信頼・関係重視型経営の再評価」

『比較経営研究』(査読無)第 35 号、2011 年、pp.3-17。

②櫻井秀子「イスラームの経営文化—法・パートナーシップ・信用」査読無『ロシア・ユーラシア研究』No. 939、2010 年、pp.30-42。

③高久保豊「転換期を迎える中国の経営文化：陰陽和合のダイナミズムを手掛かりに」査読無『ロシア・ユーラシア研究』No. 939、2010 年、pp.16-29。

④木村有里「中進国タイにおける日系企業の役割」査読有『杏林社会科学研究』第 25 巻 4 号、2010 年、pp.1-17。

⑤潜道文子「経営戦略の構築と実施における CSR のポジショニング(2)—「CSR と利益」との関連において」査読有『高崎経済大学論集』第 52 巻 1 号、2009 年、pp.27-39。

[学会発表] (計 8 件)

①櫻井秀子「イスラーム経営の社会的合理性について：信頼・関係重視型経営の再評価」日本比較経営学会、2010 年 5 月 16 日、日本大学。

②櫻井秀子「国民国家と共同体：一国民経済と経済システム：イスラーム経済の視点から」地域文化学会第 13 回大会 2010 年 6 月 12 日、中央大学。

③木村有里「タイ「知足社会」における企業経営—企業の社会貢献活動を中心として」日本経営学会、2010 年 9 月 3 日、石巻専修大学。

[図書] (計 14 件)

①潜道文子「労働多様性と企業の競争優位—女性的視点を活かすダイバーシティ・マネジメント」『社会的排除と格差問題』勁草書房、2010 年、pp.145-171(全 206 頁)。

②櫻井秀子「イスラームにおける関係重視型経営」『異文化経営の世界：その理論と実践』白桃書房、2010 年、pp.269-268 (全 317 頁)。

③高久保豊「中国：重層構造から読み解くビジネスモデル」『東アジアの企業経営：多様化するビジネスモデル』ミネルヴァ書房、2009 年、pp.69-93 (全 294 頁)。

④中屋信彦「中国における株式会社」『転換期の株式会社：拡大する影響力と改革課題』ミネルヴァ書房、2009 年、pp.217-234(全 259 頁)。

⑤木村有里「タイ多様性社会と日系企業」『東アジアの企業経営：多様化するビジネスモデル』ミネルヴァ書房、2009 年 pp.122-146 (全 294 頁)。

⑥櫻井秀子『イスラーム金融—贈与と交換、その共存のシステムを解く』新評論、2008 年全 258 頁。